

令和3年度
事業報告書

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

一般財団法人 草間彌生記念芸術財団

東京都新宿区弁天町 109

I. 事業報告

○事業の主旨

草間彌生美術館は前衛芸術家・草間彌生が設立し運営している。草間作品および関係資料の展示を通じて草間芸術の普及振興を図り、芸術全般の発展に寄与することを目的とし諸事業を展開している。

年に2回程度、収蔵作品（収蔵予定作品を含む）による展覧会を開催しているが、今年度も引き続き新型コロナウイルス感染症により通常行っている対面型の講演会・ギャラリートーク・こどもワークショップなどのプログラムは中止し、オンライン上で代替可能な方法を模索・実施した。このような状況下であっても、草間が作品を通じて繰り返し訴えてきた、世界平和と人間愛というメッセージを広く世界へ伝え、多くの方々に現代美術に慣れ親しんでいただく美術館として持続的な運営をめざし活動している。

今年度も新型コロナウイルス感染症は全世界的に収まらず、東京都の要請や日本博物館協会のガイドラインを参考にしながら、具体的な対処方針と、適宜判断できる体制をとった。館内の消毒活動・換気・フロアマーカーの設置・受付カウンターのアクリル板設置、スタッフの健康・安全管理、来館者の検温・連絡先確認・消毒活動の実施、予防活動の協力依頼と開館状況などの広報周知、収容定員の人数調整などを行い予防対策を徹底しながら運営に当たった。

○施設の概要

平成29年（2017年）10月に開館した当館は、地上5階（展示ギャラリー、ブラウジングスペース、ショップ）、地下2階（収蔵庫）。建築面積129㎡、延床面積727㎡で、階段またはエレベーターで1階から順番に上の階へあがり展示ギャラリースペースへ進み、下りはすべてエレベーターを使用としている。

美術館から徒歩1分の至近距離に事務局を設け、美術館とは密接な連携がとれる環境となっている。

1. 展覧会

今年度の常設企画展は、第8回展を4月～12月、第9回展を2022年3月から開催し、開館日数は当初は計165日の予定だったが、4月から5月は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により東京都の緊急事態宣言を受け、開館初日の4月29日～5月末までの23日間は臨時休館となり、今年度の開館日数は計142日間という結果となった。予防対策として昨年から継続して一回の収容定員を70名から40～50名に制限

し、その結果、今年度の開館日数は計 142 日、来館者数は 28,079 名、1 日平均約 198 名となった。

美術館開館日は通常、木・金・土・日曜および国民の祝日で、入場は 1 日 6 回（1 回 70 名）、開館時間は 11 時から 17 時半までとしているが、今年度もコロナ禍の下、さまざまな対策を継続した。

美術館敷地内に入場待機列をつくるスペースなどの余剰が少ないため、混雑緩和と近隣地域への配慮から事前予約制をとり、チケットは美術館の公式ウェブサイトのみで販売という開館以来とってきた独自の方法は、コロナ感染予防対策の一環としても認知されてきた。コロナ禍により 5 割以上を占めていた海外からの来館者が途絶え、収容定員も約半数に制限し、これまでの状況は様変わりしたが国内若者層の来館の割合が増えた。コロナ禍では当日券を求めて来訪する方がより一層増えたことから、2021 年 2 月からチケット販売システムを当日の入館時間の 30 分前まで対応可能と変更した結果、当日購入が増え来館者の利便性向上にもつながった。

展覧会は、当館学芸課が企画し、作品選定、借用依頼、運搬、会場構成、展示、作品リスト・図録の作成などすべてを執り行った。出品作品は絵画、版画、ドローイング、立体作品、参加型インスタレーション、映像、資料など多岐に渡り紹介し、鑑賞を楽しみながら制作の背景や美術史上の意義の理解ができるような展示を心掛けた。これまで通りバイリンガル表記の作品リスト、図録とし、ウェブサイトもバイリンガル対応としている。美術館の広報手段のひとつである公式インスタグラムアカウントでは展覧会の様子や出品作品、教育普及イベントの情報などを随時バイリンガルにて発信した。コロナ禍によりオンライン上でのコンテンツ発信も工夫しながら改良を行い、インスタグラムのフォロワーも国内・外で着実に増えた。

また、外部業者へ委託し、館内監視、来館者の受付対応、チケット販売、館内清掃などを行い、美術館の鑑賞環境の向上に協力を得た。

教育普及活動として毎回実施してきた展覧会に関する講演会、ギャラリートークなどは中止したが、インスタグラムを活用し、当館スタッフによるオンラインギャラリートークでは展覧会の概要、作品解説や制作の背景などをバイリンガル（英語字幕）で紹介した。同様に子ども向けワークショップは、事前応募制にてオンライン

（ZOOM を活用）で 5 回行い、小学生と保護者が一緒に参加し、当館スタッフと作品を鑑賞し、それぞれが制作を楽しみながら体験する機会をつくることができた。教育普及プログラムの運営サポートには、ボランティアスタッフの協力を得ており、実際の体験を重ねながら新たな企画を考えるミーティングなども設けた。

展覧会ごとに図録を制作・美術館のショップで販売している。発行は一般財団法人草間彌生記念芸術財団で日英バイリンガル・A4 変型ハードカバーの体裁。

○第8回展覧会企画

「神秘と抽象の中間：草間彌生のモノクローム」概要

タイトル 「神秘と抽象の中間：草間彌生のモノクローム」

会 期 2021年6月3日(木)～12月26日(日)

当初予定：2021年4月29日(木)～12月26日(日)

プレスレビュー 2021年6月2日(水) 14:00～17:00

開催日数 124日間

当初予定：147日間

入場時間 ①11:00～12:30

②12:00～13:30

③13:00～14:30

④14:00～15:30

⑤15:00～16:30

⑥16:00～17:30

11:00から各90分枠の6回転制、2か月前の1日から美術館ウェブサイトのみにチケットを販売。

事前予約・定員70名→40-50名に制限・入替制。

当日の入館時間の30分前まで、チケット購入が可能。

観覧料 一般 1,100円 小中学生 600円 (税込)

※未就学児は無料。団体割引の設定はなし。

入場者数 24,298名

1日平均 約196名

図録 A4変型48ページ・ハードカバー・日英バイリンガル

チラシ A4

出品点数 67点

企画趣旨 古来より、水墨画や単彩画として東西に親しまれるモノクローム(単色)絵画は、20世紀美術における抽象表現の歩みとともに、様々な美術運動において展開されてきた。草間彌生もまた、モノクロームの作品を数多く制作しており、1959年の発表以降制作が続く「無限の網」に代表されるモノクローム絵画に始まり、白や金・銀1色で塗りつぶしたソフト・スカルプチュア、単色でありながらあらゆる色を反射する鏡の部屋や、単色の花で空間を埋め尽くすインスタレーション、最新の絵画シリーズ「わが永遠の魂」での、稀有な色彩感覚で組み合わせられたモノクロームの作品群など、草間は単色あるいは地色と描画色の2色に限定したパレットでの制作を継続して行っている。図と地が流動的で、オールオーバーに作品

表面を覆い、さらには作品の外へも広がる印象を与えるこれらの作品において、モノクロームは反復を強調し、あるいは集積をひとつにとりまとめ、その強烈な視覚性とドライブ感の増幅に大きな役割を果たしている。本展では、初期から現在に至るまで草間が継続して制作する多様なモノクローム作品を展覧し、一貫して追求する自己消滅の表現における反語的な色彩の探求ともいえる独自のモノクロームの世界を紹介する。

入館者数統計

月	開館日数	入館者数	1日平均(名)
6	16日	3,121	約195
7	19	3,998	210
8	18	3,672	204
9	18	3,422	190
10	19	3,298	174
11	18	3,458	192
12	16	3,329	208
計	124日	24,298名	196名

出品リスト

1	去ってゆく冬	草間彌生	2005	鏡、ガラス	180×80×80 cm	所蔵(記載の無いものは草間彌生美術館所蔵予定)
2	無限の網(1)	草間彌生	1958	油彩・キャンバス	125.3×91 cm	
3	幻影の愛	草間彌生	1988	詰め物入り縫製布、鉄、エナメル塗料	175×64×64 cm	
4	希死	草間彌生	1975-1976	詰め物入り縫製布、キッチンツール、金属トレイ、エナメル塗料	10点組、サイズ可変	
5	幻影の彼方(パーティー)	草間彌生	1997	詰め物入り縫製布、木、アクリル、他	183×184×20 cm	
6	宇宙への旅 [TZQMN]	草間彌生	2007	シルクスクリーン・キャンバス	130.3×162 cm	
7	真夜中の女たち	草間彌生	2005	シルクスクリーン・キャンバス	130.3×162 cm	
8	芽ぶき [TOXZS]	草間彌生	2006	シルクスクリーン・キャンバス	130.3×162 cm	

9	我が心の中の旗 [TXOZT]	草間彌生	2006	シルクスクリーン・キャン バス	162×130.3 cm	
10	献花（チューリ ップ）	草間彌生	2006	シルクスクリーン・キャン バス	162×130.3 cm	
11	きのう見た夢	草間彌生	2006	シルクスクリーン・キャン バス	162×130.3 cm	
12	無限の網	草間彌生	1953-1984	エッチング・紙	30×20 cm / 54.8 ×40.2 cm	
13	花	草間彌生	1985	エッチング・紙	42.2×27.5 cm / 63×45.5 cm	
14	かぼちゃ軍団 '85(黒)	草間彌生	1985	エッチング・紙	27.8×42.4 cm / 46×63 cm	
15	芽生え	草間彌生	1995	エッチング・紙	22×14.5 cm / 38 ×28.5 cm	
16	幻の光	草間彌生	1995	エッチング・紙	31.3×22.5 cm / 50.8×38 cm	
17	自画像	草間彌生	1995	エッチング・紙	29.5×22.3 cm / 53.5×38 cm	
18	無限の網	草間彌生	1953-1984	エッチング・紙	27.5×44 cm / 45.5×63 cm	
19	集積	草間彌生	1953-1984	エッチング・紙	27.7×45.3 cm / 45.5×63 cm	
20	集積	草間彌生	1953-1984	エッチング・紙	27.3×45.3 cm / 45.5×63 cm	
21	無限	草間彌生	1953-1984	エッチング・紙	19.8×36.3 cm / 45.5×63 cm	
22	自画像	草間彌生	1999	エナメル塗料・セラミック	5×25×20 cm	
23	(目 ABC)	草間彌生	1999	エナメル塗料・セラミック	2.5×23×23 cm	
24	無題	草間彌生	1999	エナメル塗料・セラミック	3.5×21×21 cm	
25	無題	草間彌生	1999	エナメル塗料・セラミック	6×22×21.5 cm	
26	自画像	草間彌生	1999	エナメル塗料・セラミック	5×25×20 cm	
27	無題	草間彌生	1999	エナメル塗料・セラミック	2×22×21 cm	
28	無題	草間彌生	1999	エナメル塗料・セラミック	5×23×23 cm	
29	鳥の入口	草間彌生	1999	エナメル塗料・セラミック	8.5×11 x10.5 cm	

30	鳩の巣	草間彌生	1999	エナメル塗料・セラミック	6×12 x12 cm	
31	自画像(BZ)	草間彌生	1999	エナメル塗料・セラミック	3.5×21×21 cm	
32	やがて死がせまりくるといのに道を求めて永く歩みきりし日々	草間彌生	2020	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
33	天国へ上る階段	草間彌生	2019	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
34	紫の夜よ眠れすべての人々に愛情を込めて永遠に尽きる事のない 生命の紫の神秘を込めて	草間彌生	2020	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
35	宇宙の果てにたどりついて やっと神様にめぐり会った	草間彌生	2019	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
36	宇宙が創り上げた哲学のすべて	草間彌生	2019	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
37	宇宙の永遠の彼方は青色の祭りに燃えていたこの私が受け取った愛の光景この瞬間のすべてを忘れないでね	草間彌生	2020	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
38	人の世の愛のすべてをみよう	草間彌生	2020	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
39	赤い夕焼け	草間彌生	2020	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
40	宇宙の星くずを見上げる時私は自殺することを	草間彌生	2020	アクリル・キャンバス	100×100 cm	

	忘れる					
41	永遠にわが命を すばらしく持ち つづけたいと 日々願ってきた	草間彌生	2020	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
42	永遠の人類愛の 道しるべをわた しが見出した時	草間彌生	2019	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
43	輝く星 求めれ ば求めるほど輝 いてくる	草間彌生	2020	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
44	わが永遠の人類 に愛を捧げる	草間彌生	2020	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
45	青春がやって来 た	草間彌生	2019	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
46	心いっばいの努 力をして人生を 終えたい	草間彌生	2020	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
47	宇宙のすべてを 語りたい	草間彌生	2020	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
48	女たちは宇宙に 叫んだ	草間彌生	2018	アクリル・キャンバス	194×194 cm	
49	限りない人類愛 は全世界を包ん でほしい	草間彌生	2009	アクリル・キャンバス	162×162 cm	
50	愛はとこしえに 開いてゆく 死 をのりこえて	草間彌生	2009	アクリル・キャンバス	130.3×162 cm	
51	悲しみ、そし て、戦争のあと	草間彌生	2012	アクリル・キャンバス	162×130.3 cm	
52	わが恋のすべ て、そして夜の 夢をたべたい	草間彌生	2009	アクリル・キャンバス	130.3×162 cm	
53	銀色の宇宙	草間彌生	2010	アクリル・キャンバス	194×194 cm	
54	花園に行こう	草間彌生	2012	アクリル・キャンバス	130.3×162 cm	

55	緑の平原	草間彌生	2012	アクリル・キャンバス	162×162 cm	
56	宇宙の足跡	草間彌生	2016	アクリル・キャンバス	194×194 cm	
57	落魄の墳墓	草間彌生	2015	アクリル・キャンバス	194×194 cm	
58	美を記憶する	草間彌生	2011	アクリル・キャンバス	130.3×162 cm	
59	水にたわむれて	草間彌生	2010	アクリル・キャンバス	162×162 cm	
60	花の精たちは語り合う	草間彌生	2015	アクリル・キャンバス	194×194 cm	
61	心の中の詩	草間彌生	2010	アクリル・キャンバス	194×194 cm	
62	信濃路のながめ	草間彌生	2012	アクリル・キャンバス	162×130.3 cm	
63	強迫	草間彌生	2011	アクリル・キャンバス	162×130.3 cm	
64	心のすべて	草間彌生	2015	アクリル・キャンバス	194×194 cm	
65	雲	草間彌生	2019	ステンレス	サイズ可変	
66	草間の部屋	草間彌生	1999	ビデオ	1分8秒	
67	フラワー・オブセッション	草間彌生	2017/2020	家具、造花、花柄ステッカー、花柄テーブルクロス	サイズ可変	

※以下の作品は本展覧会には含まれないが、屋上ギャラリーに展示した。

《天空にささげたわたしの心のすべてをかたる花たち》2018年、ウレタン塗装・ブロンズ、149 x 180 x 170 cm

○関連企画

講演会

新型コロナウイルス感染症拡大の先行きが見えず、講師・会場などの調整が困難なため本展に関する講演会は中止した。

ギャラリートーク

当館スタッフによるギャラリートークは、コロナ禍以降は、館内で密が発生しないよう対面での実施は中止とし、当館学芸員によるオンラインギャラリートークを5回、当館公式インスタグラムアカウント (@yayoikusamamuseum) のコンテンツとしてIGTVで配信した。ソフト・スカルプチュア、ミラー・ルームなどの草間の著名な作品シリーズを展示作品から紹介し、「モノクローム」に込められたテーマについて解説した。英語字幕も整えバイリンガル対応とし、来館者だけでなく広く美術ファンへの情報発信とした。

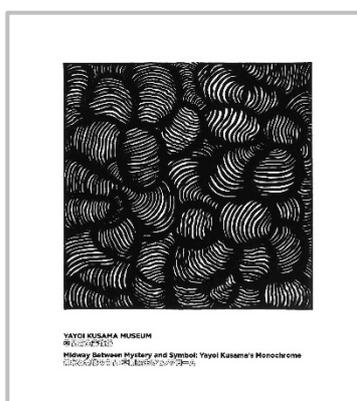
公開日	概要
-----	----

6月25日(金)	展覧会概要について紹介
----------	-------------

- 7月30日（金） 作品《去ってゆく冬》
8月27日（金） 草間のエッチング作品群について
10月1日（金） 作品《幻影の彼方（パーティー）》
11月12日（金） 「わが永遠の魂」シリーズより

展覧会図録制作

発行：2021年4月/一般財団法人草間彌生記念芸術財団
体裁：規格外A4変型ハードカバー・48P・日英バイリンガル
価格：2,200円



○第9回展覧会企画

「心の中の詩」概要

タイトル 「心の中の詩」

会期 2022年3月3日（木）～8月28日（日）

プレスプレビュー 2022年3月1日（火）14:00～16:00

開催日数 107日間

入場時間 ①11:00～12:30

②12:00～13:30

③13:00～14:30

④14:00～15:30

⑤15:00～16:30

⑥16:00～17:30

11:00から各90分枠の6回転制、2か月前の1日から美術館ウェブサイトのみにチケットを販売。

事前予約・定員70名→40名に制限・入替制。

当日の入館時間の30分前まで、チケット購入が可能。

観覧料 一般 1,100円 小中学生 600円 (税込)

※未就学児は無料。団体割引の設定はなし。

入場者数 3,781名 (3月31日時点)

1日平均 210名 (3月31日時点)

図録 A4変型 48ページ・ハードカバー・日英バイリンガル

チラシ A4

出品点数 45点

企画趣旨 草間彌生は、幼時の幻覚体験や心に湧き上がるヴィジョンなど、きわめて個人的なものを創作の源泉としており、芸術家としてのデビューから間もない1950年代初頭には、美術評論家の瀧口修造や画家の阿部展也といった専門家から高い評価を得ている。それは、なにものにも捉われない草間の作品が、当時からすでに突出した独自性を示していたと同時に、「もっぱら自分の内面の問題」であると語る彼女の創作の中に、理性的な考えから解き放たれた無制限な想像力や内的なイメージに目を向けた、シュルレアリスムと相通じる表現を見出すことができるともいえる。本展では、内からあふれ出すイメージの数々や心の葛藤をありのままに映し出した、シュルレアリスムを彷彿とさせる草間の多様な作品を紹介。

出品リスト

No.	作品名	作家名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横)	所蔵(記載の無いものは草間彌生美術館所蔵予定)
1	真夜中に咲く 花	草間彌生	2010	F.R.P.、ウレタン塗料、鉄	300×175×210 cm	
2	残骸	草間彌生	1950	油彩・キャンバス	61×72.7 cm	
3	残骸	草間彌生	1950	油彩、水彩・紙	44.5×52 cm	
4	地の底のもえる 火	草間彌生	1953	グワッシュ、インク・紙	29×22 cm	
5	FLYING PEOPLE	草間彌生	1953	インク、パステル・紙	27.2×20.2 cm	
6	A Flower #6	草間彌生	1953	インク、水彩、パステル・紙	27.5×20 cm	個人蔵(草間彌生美術館寄託)

7	Flowers	草間彌生	1953	インク、水彩、パステル・紙	29.5×22.5 cm	個人蔵（草間彌生美術館寄託）
8	無題	草間彌生	1954	グワッシュ、パステル・紙	50.6×46.3 cm	
9	えら	草間彌生	1955	グワッシュ、墨・紙	61×72.5 cm	個人蔵
10	残夢	草間彌生	1949	岩彩・紙	136.5×151.7 cm	
11	赤い地平線	草間彌生	1980	詰め物入り軍手・彩色	460×335×11 cm	
12	無題（靴）	草間彌生	c.1968	靴、詰め物入り縫製布、塗料	27×8×21.5 cm	
13	無題（フライ返し）	草間彌生	c.1968	フライ返し、詰め物入り縫製布、塗料	4.5×8×36.5 cm	
14	無題（靴）	草間彌生	c.1968	靴、詰め物入り縫製布、塗料	17×9×23 cm	
15	無題（バニティケース）	草間彌生	c.1968	バニティケース、詰め物入り縫製布、塗料	20.5×30×20.5 cm	
16	夢の中に現れた水色の花	草間彌生	1975	コラージュ、パステル、インク、布・紙	54.5×38.6 cm	
17	山を行く	草間彌生	1993	コラージュ、パステル、インク・紙	51.3×36.6 cm	
18	夜のフクロウ	草間彌生	1994	コラージュ、アクリル、パステル、インク・紙	51.2×36.7 cm	
19	孤独の中を美しく生き抜いてきた私の姿をみて	草間彌生	2020	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
20	宇宙の闇を飛び越えて我々に語りかけた宇宙の神秘に対する畏敬の念	草間彌生	2019	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
21	天空の彼方	草間彌生	2018	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
22	愛の夢をみだしていた私	草間彌生	2020	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
23	紫の夜よ眠れすべての人々に愛情を込めて	草間彌生	2020	アクリル・キャンバス	100×100 cm	

	永遠に尽きる事 のない 生命の 紫の神秘を込め て					
24	天国に咲いた花 に語りかけた私 の驚き、喜び	草間彌生	2020	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
25	人類は祭りの中 に熱い心を生み 出して 平和の 祈りを捧げたい さあ、もっと炎 をたこうね	草間彌生	2020	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
26	心の中の幻に漂 う	草間彌生	2020	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
27	100種類の同 じ造形の姿を醸 し出したその全 体的な美しさ	草間彌生	2019	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
28	永遠の人類愛の 道しるべをわた しが見出した時	草間彌生	2019	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
29	我々の見たこと もない幻想の幻 とはこの素晴ら しさである	草間彌生	2019	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
30	わが永遠の魂を 歌う	草間彌生	2020	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
31	呼んでいる き っと 空のあお さ 透けて 幻 の影いだき わ きあがる雲の色 芙蓉色 食べて みて 散る な みだの音	草間彌生	2019	アクリル・キャンバス	100×100 cm	

32	湖の醸し出す多 大な青さのすば らしさ	草間彌生	2019	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
33	自分の遺骨取り 出して 夜中眺 めわが孤独みて いた	草間彌生	2020	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
34	すばらしい地球 のかがやいた姿 に打たれた 私の人生の道の り	草間彌生	2020	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
35	今日も同じく地 球はかくのごと くまわる。	草間彌生	2016	アクリル・キャンバス	194×194 cm	
36	宇宙へ見物へ行 った女たち	草間彌生	2017	アクリル・キャンバス	194×194 cm	
37	幸いのすべて	草間彌生	2014	アクリル・キャンバス	194×194 cm	
38	無限の心	草間彌生	2016	アクリル・キャンバス	194×194 cm	
39	心の中の詩	草間彌生	2010	アクリル・キャンバス	194×194 cm	
40	輝く星たちは求 めれば求めるほ どに輝きは遠の けるごとくなり	草間彌生	2016	アクリル・キャンバス	194×194 cm	
41	うれしいのごとく くれないの 赤 きくちびる おしあてて あ つきなみだを ながせども あゝ 春はゆく 春はゆく	草間彌生	2015	アクリル・キャンバス	194×194 cm	
42	静かな朝のめざ め	草間彌生	2010	アクリル・キャンバス	194×194 cm	
43	生命	草間彌生	1998	縫製布、ウレタン、アクリ	サイズ可変	

	(REPETITIVE VISION)			ル、木		
44	I'm Here, but Nothing	草間彌生	2000/2022	蛍光ステッカー、ブラックライト、家具、日用品	サイズ可変	
45	命	草間彌生	2015	F.R.P.、タイル	227×φ110 cm, 200×φ95 cm, 152×φ75 cm, 125×φ60 cm, 103×φ50 cm	

○関連企画

講演会

新型コロナウイルス感染症の動向により検討。

ギャラリートーク

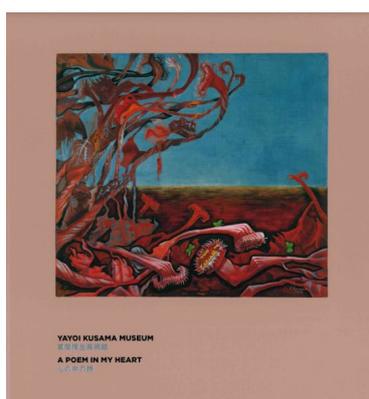
当館学芸員によるオンライン上でのギャラリートークを3回、当館公式インスタグラムアカウント (@yayoikusamamuseum) のコンテンツとして IGTV で配信予定。スケジュールは検討中。

展覧会図録制作

発行：2022年3月/一般財団法人草間彌生記念芸術財団

体裁：規格外 A4 変型ハードカバー・48P・日英バイリンガル

価格：2,200円



2. 教育・普及活動

当館では現代美術の普及と理解を広めるため、子どもから大人まで様々な年齢層に向けた教育普及プログラムを展開している。展示作品への関心を深め、鑑賞後の印象や感想を

家族や知人と交換する機会を提供し、草間作品を通して現代美術をより身近に体験してもらうことを目指したプログラムの推進に積極的に取り組んできた。従来行っている対面型のイベントは新型コロナウイルス感染症により概ね中止とし、オンラインを活用したコンテンツの企画・配信・実施を中心に行った。

未就学児のいる家族を対象にした美術館訪問の入門編ともいえるプログラム「おやこで美術館」、および新宿区立の小学校から実施希望があった「スクールプログラム」は、実施当時の新型コロナウイルス感染症の状況を勘案し、安全に運営ができるよう工夫し、従来型の対面形式で実施した。これらを通じて事前に感染症の状況に応じた実施に関するガイドラインや、万一リスク発生時の情報管理の資料なども作成した。また、教育普及活動の運営は、大学生を中心に約16名のボランティアスタッフの協力を得て実施している。彼らの現場での体験を通じて、プログラム内容の改善や新たな企画のアイデアだしなど、イベントの事前・事後のミーティングの場で有効な意見交換ができた。

[美術館たんけんワークシート]

来館する子ども向けの鑑賞ツールとして、子どもたちが作品の細部など様々な要素に注目し、作品を見ながら物語を想像できるよう、出展作品の理解と楽しい時間を過ごすことを目的に、展覧会ごとに作成し来館者（希望者）へ配布した。貸出用のバインダー・鉛筆は感染症対策の一環でスタッフがその都度、消毒作業を行った。

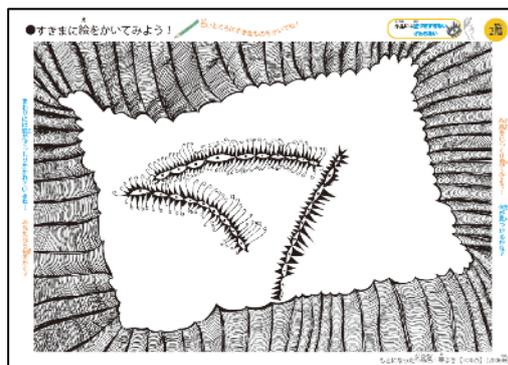
対象：小学生以下

用具：ワークシートと鉛筆、クリップボードのセット

配布数：第8回展 日本語147名/英語18名（124日間）

第9回展

・8回展ワークシート



・9回展ワークシート（英語版）



【こどもワークショップ】

通常は月1～2回、週末の開館時間前に子ども達（保護者同伴）が参加するワークショップを1時間程度で開催してきたが、今年度も対面型イベントは中止し、当館ウェブサイト、公式インスタグラムアカウントを通じて告知し、プログラムの実施はオンラインZOOMを活用した。事前にメールで保護者へ創作のための補助シート（PDFデータ）の出力と簡単な材料の準備を依頼し、少人数の参加者により約50分のワークショップを5回実施した。小学生を対象に、展覧会の作品の一部を鑑賞し、それに合ったテーマで創作を行うワークショッププログラムを行った。

通常行っているプログラムをベースに、オンラインで作品を見せて、全員の発言を促すよう、スタッフからタイミングよく声をかけたり、カメラワークも工夫するなどさらなる試行錯誤を重ねた。完成した子どもたちの作品を見ると、草間作品から直接影響を受けたり、他の子どもたちの発言にヒントを得たようなものも見受けられ、限られた時間内で創作する手がかりをうまく得ているように感じられた。

・8回展ワークショップ

「ねん土で作ろう！モノクロームの自画像」をテーマに、展示中のセラミックの小立体作品2-3点を鑑賞し、不思議な形の《自画像》と題された作品について、こども達の感想や印象を一巡して聞いた。その後、実際に紙粘土で自分なりの《自画像》を創作した。保護者の方に予め出力を依頼していたシートには、鑑賞した作品と同サイズの枠が示されており、それを目安に紙粘土で円を作った。最後に自分の作品について説明し、お互いに作品を見せ合う時間を設け交流した。

実施日	時間	参加者 人数
2021年6月27日（日）	50分	4名
8月22日（日）	50分	6名
9月19日（日）	50分	5名
10月31日（日）	50分	3名
計 4 回		18 名



鑑賞作品《自画像》1999年



粘土創作デモンストレーション動画

・9回展ワークショップ

「絵にかいてみよう！心の中の景色」をテーマに、展覧会のメインイメージにもなっている作品《残夢》を鑑賞し、その後、お絵かきシートを活用し創作を行う。

実施日	時間	参加者 人数
2022年3月27日（日）	50分	5名
7月予定	50分	
8月予定	50分	
計 3回 予定		

[おやこで美術館]

今年度は新たに、未就学児の子どもがいる家族を対象にした鑑賞プログラムを開催した。昨年度実施したワークショップでは、特に未就学児を対象にした際のオンラインでの鑑賞活動が困難という課題や、ワークショップに参加する保護者の方々からも初めて美術館に子どもを連れて行く時の躊躇などの意見を聞き、本企画に至った。

ボランティアスタッフは事前にオンラインで綿密な打ち合わせを実施し、当日はマスクとフェイスシールドを着用するなどの感染対策を徹底しながら、4組限定という少人数体制で開催した。壁一面に作品が展示されている3Fギャラリーと屋上ギャラリーを、親子で会話しながら鑑賞し、美術館スタッフからいくつか質問をし、全員それぞれの好

みや楽しみ方・発見のしかたなどを発表した。小規模だがこのような企画を通じて、小さなお子さまがいる家族が美術館を来訪しやすくなる機会として注力していく。

実施日	時間	参加者 人数
2021年11月28日（日）	50分	子ども（5名）保護者（6名）

計1回



鑑賞の様子

[スクールプログラム]

今年度は、感染状況が一時的に落ち着いた秋以降に、数カ月前から実施希望のあった小学校と数回相談を重ねて、スクールプログラムを3回実施した。10名前後に分けたグループ別の行動を基本とし、全体で集合するオリエンテーションは中止するなど、館内で密が発生しないように工夫した。グループごとにボランティアスタッフが引率として付き、鑑賞のサポートを行った。

時期：2021年11月17日（水）9:30-11:40

学校名：新宿区立落合第四小学校

参加者：小学5年生75名+教員2名



鑑賞の様子

時期：2021年12月8日（水）10:45-11:45

学校名：新宿区立戸塚第二小学校

参加者：小学6年生43名+教員4名



鑑賞の様子

時期：2022年 3月 16日（水）9:30-12:30

学校名：新宿区立早稲田小学校

参加者：小学6年生99名+教員4名

[こどもガイド]

子どもの来館が多い夏休みの一定期間、草間作品や作家についてわかりやすく紹介するこどもガイド（vo.1・vol.2 日本語/英語版）を配布した。

美術館での作品鑑賞の補助、家族や友達との話題提供や、夏休みの自由研究の一助としての活用を視野に入れて作成している。

こどもガイド vol.1

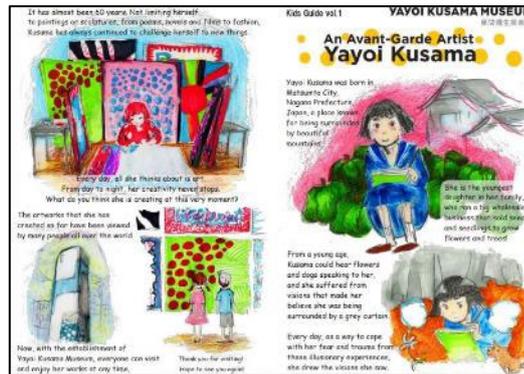
概要：芸術家草間彌生の活動と作品について絵本形式でイラストとテキストで紹介

対象：小学生

仕様：A4 サイズ・二つ折り・カラー

配布数：700部（日）100部（英）

配布期間：2021年7月22日（木）～9月2日（木）



・ Kids Guide vol.1 裏表紙・表紙

こどもガイド vol.2

概要：草間作品の代表的なモチーフのひとつ「水玉」を取り上げ、多様に展開する作品を紹介

対象：小学生

仕様：A4 サイズ・観音開き・カラー

配布数：700 部（日）100 部（英）

配布期間：2021 年 7 月 22 日（木）～9 月 2 日（木）



・ こどもガイド vol.2 裏表紙・表紙

3. その他の実施事業

○草間彌生に関する作品や資料の収集・保存および調査・研究

作品・資料の収集

作品の収集

関連資料の収集

関連書籍等の収集

作品や資料の保存

- 作品や資料の保存管理
- 作品や資料のデジタルアーカイブ（計画段階）
- 作品や資料の調査・研究
 - 作品・展示解説を掲載した図録の制作・発行と、関連機関への寄贈
 - 作品に関する評論等の調査・研究

4. 著作権の管理

○権利者の利益はもちろんのこと社会全体の文化創造の活力が損なわれることのないよう、草間彌生の著作権情報の窓口として株式会社草間彌生と協働して管理業務を行う。

- ・商標登録
 - 日本（登録準備・手続きを行う）
 - 海外（中国は登録手続済）
- ・著作権侵害案件の対応
 - 日本（主にネットオークションに出品される贋作などの対応）
 - 海外（主に中国などで開催される贋作展覧会などの対応）
- ・ライセンス事業

5. その他、財団の目的達成のために必要な活動

○その他、財団の目的達成のために必要な活動

[ミュージアムショップの運営、美術館グッズの制作・販売]

※ミュージアムショップの運営状況を検証し、オリジナルグッズの開発による来館者の満足度向上、および美術館収益拡大をはかる。

グッズアイテム

- ・オリジナル
 - 展覧会カタログ・ポストカード3点1セット
 - ハンカチ（2種類・各3バージョン）
 - お菓子（プチ・ゴルフ缶、プチ・シガール缶）
 - スカーフ（2種類）
 - トートバッグ *今年度商品化
- ・草間スタジオ既存グッズ
 - パンプキンオブジェ（2種類）
 - パンプキンパース
 - パンプキンクラッチバッグ

[全国美術館会議の研修へ参加・ネットワーク形成]

2020年から当会へ入会し、美術館同志の連携やネットワーク形成を通じ、情報交換や研修参加による知見の共有をはかり、美術館活動に反映している。

[博物館登録の申請完了]

東京都教育委員会へ博物館登録を申請していたが、3月に博物館登録が完了。

今後も引き続き登録博物館としてのガイドラインに則り運営する。

II. 庶務の概要

1. 役員

令和4年3月現在

代表理事	草間 弥生	
業務執行理事	建畠 哲	
	草間 祐輔	
	島 敦彦	
	中森 康文	
	林 知一	
	松本 透	
		7名
評議員	伊東 正伸	
	渋谷見 彰	
	高杉 恵	
	平野 到	
	前山 裕司	
	南 雄介	
	鷺田 めるろ	
		7名
監事	大森 京太	
	加登屋 健治	
		2名

2. 組織図

令和4年3月現在

